

# 学報

SEIREI CHRISTOPHER  
UNIVERSITY REPORT

2006.5.1  
Vol.27

3453 Mikatahara-cho Hamamatsu-shi Shizuoka 433-8558 <http://www.seirei.ac.jp>

INDEX	PAGE		
就職支援	1	クリストファーニュース	7
研究科長就任にあたって	3	後援会から	9
新任教員の紹介	4	お知らせ	10
私の教育研究	5	キャンパスライフ	11
クラブ・同好会紹介	6	学友会から	11



4月4日(火)にアクティシティ浜松中ホールにおいて、2006年度入学式を行いました。本年度の新生は、看護学部、社会福祉学部、リハビリテーション学部、看護短期大学部、大学院の3研究科あわせて383名。新生のことばとして、社会福祉学部社会福祉学科に入学した高村和哉さんが、入学の決意を述べました。

学報

2006.5.1  
Vol.27

聖隷クリストファー大学 学報

発行所

〒433-8558 静岡県浜松市三方原町3453 TEL053-439-1400 FAX053-439-1406 <http://www.seirei.ac.jp>

## CAMPUS LIFE

[キャンパスライフ]



**防災訓練を行いました。**  
4月6日(木)に2006年度防災訓練を実施しました。前日の天候不良により一部プログラムを変更しましたが、学部別・学年別に救護訓練(搬送訓練、三角巾を使用した訓練、消火訓練、地震に関するDVDの視聴などを行いました。体験型訓練に参加した学生は真剣な眼差しで訓練に参加していました。  
また、聖隷学園安否情報システムへの携帯等からのアクセス訓練も行いました。



**卒業パーティを行いました。**  
3月13日(月)にアクティシティ浜松中ホールにて卒業式を行った後、グラウンドホテル浜松に移動し、後援会・学友会・同窓会、大学の共催による卒業パーティを行いました。昨年に引き続き2回目の今回は着席形式で卒業年次生、保護者、来賓、在学生、教職員合わせて約750名が集まり、盛大なパーティとなりました。



**クリスマス礼拝、クリスマス祝会を行いました。**  
12月22日(木)、聖隷学園第2体育館において、クリスマス礼拝、クリスマス祝会が行われました。礼拝では、奏楽のあと聖書の朗読、祈禱、説教、聖歌隊の歌やハンドベルによる演奏、献金が行われました。説教者には、日本キリスト教団隠退牧師の大隈啓三先生を迎え、「クリスマスの心」と題してお話をいただきました。午後には

学生で組織されている学友会主催の祝会がスタート。ブラスバンド部や軽音楽部による演奏のほかビンゴ大会などを行い、楽しいひとときを過ごしました。そして、祝会後は、有志学生が大学近隣の病院や施設等へ行き、キャロリングを行いました。



ブラスバンド部は「恋人たちのクリスマス」「アメーzing・グレース」の2曲を演奏しました。また、研究やサークル活動などを行う「オリブ」の活動も盛んに行われています。



ブラスバンド部は「恋人たちのクリスマス」「アメーzing・グレース」の2曲を演奏しました。また、研究やサークル活動などを行う「オリブ」の活動も盛んに行われています。

**学友会活動を振り返って**  
今期の学友会の活動は、一部の学友会委員に役割分担が集中してしまいがちで、均等な役割分担ができなかったことが課題として挙げられます。  
しかし、1年次生は前向きに、何事に対しても興味を持って取り組んでくれました。活動していく過程の中で気がついたことは、ただ漠然と学友会活動を行うのではなく、この活動がどのような影響や効果をもたらすのか、また、どうすれば学生生活が有意義なものになるか、各委員で課題を持ち寄り、解決のための話し合いを行い、皆が納得した上で行動することに視点をあきました。そうすることで、学友会委員としての責任と自覚を促し、円滑な学友会活動を行うことができると考えました。  
また、1年次生だけではなく、会計やサークル役員、キャンパスプランといった役割を受け持った2年次生の委員も私自身が驚くほど積極的に活動し、学友会をまとめてくれました。皆の協力や助言があったからこそ自分自身も頑張ることができ、無事に活動を遂行できたと思います。本当に感謝しています。1年次生には、今期の活動の良かった点や改善点について振り返り、今後の学友会活動につなげてほしいと願っています。



学友会会長  
**小長谷 拓郎**  
リハビリテーション学部  
3年次生

読者アンケートのお願い

裏面の質問にご記入いただき、ポストに投函してください。

POST CARD

433-8790

静岡県浜松市三方原町3453  
**聖隷クリストファー大学**  
総務課 総務部



料金取入私  
局 設  
北 承  
浜 33  
松 局  
〒433-8558 静岡県浜松市三方原町3453 TEL053-439-1400 FAX053-439-1406

〒

フリガナ

名前

住所

電話

E-mail

区分

① 保護者  その他



# 聖隷クリストファー大学の 就職支援



●表2/2006年度 就職支援プログラム日程表(予定)

看護学部	社会福祉学部	リハビリテーション学部	専攻科助産学特別専攻
4月 個別面談 就職進学ガイダンス 就職先研究 就職マナー講習会 公務員受験説明会 公務員模擬試験 小論文講座	個別面談 福祉人材バンクへの登録 就職進学ガイダンス 就職マナー講習会 公務員受験説明会 公務員模擬試験 小論文講座	個別面談 就職進学ガイダンス 就職マナー講習会 公務員受験説明会 公務員模擬試験 小論文講座	個別面談 就職進学ガイダンス
5月 個別面談 進学先研究 キャリア講座	個別面談 キャリア講座	個別面談 進学先研究 キャリア講座	個別面談 キャリア講座
6月 個別面談 学内病院説明会 キャリア講座	個別面談 キャリア講座	個別面談 キャリア講座	個別面談 学内病院説明会 キャリア講座
7月 キャリア講座 テーマ別ガイダンス	キャリア講座 テーマ別ガイダンス 介護保険請求事務講座	キャリア講座 テーマ別ガイダンス	キャリア講座 テーマ別ガイダンス
8月	介護保険請求事務講座		
9月 公務員試験対策講座 MOS対策講座 就職進学ガイダンス	公務員試験対策講座 MOS対策講座 就職進学ガイダンス	公務員試験対策講座 MOS対策講座 就職進学ガイダンス	就職進学ガイダンス
10月 進学先研究 就職講演会 卒業生との懇談会 キャリア講座 就職マナー講習会	キャリア講座 福祉環境コーディネーター対策講座 キャリア講座 就職マナー講習会	就職講演会 キャリア講座 就職マナー講習会	卒業生との懇談会 キャリア講座
11月 キャリア講座	キャリア講座 福祉環境コーディネーター対策講座 就職活動報告会 就職講演会 卒業生との懇談会	キャリア講座	キャリア講座
12月			
1月 公務員受験説明会 公務員模擬試験	公務員受験説明会 公務員模擬試験	公務員受験説明会 公務員模擬試験	
2月 就職活動アンケート調査 テーマ別ガイダンス	就職活動報告会 学内求人説明会 テーマ別ガイダンス 就職活動アンケート 医療事務講座	テーマ別ガイダンス	就職活動アンケート調査
3月 就職活動報告会 MOS対策講座 一般試験対策講座	医療事務講座 MOS対策講座 一般試験対策講座	就職活動報告会 MOS対策講座 一般試験対策講座	

模擬面接・履歴書添削は、随時窓口にて対応中

※日程等詳細は、ガイダンス・掲示・ホームページ・メールにて連絡します。

●表3/満足度調査結果上位ランキング(※網掛け部分が進路に関する項目)

学部	年度	順位	設問
看護	2005	1	希望する進路先に就職、又は進学することができた。
		2	たくさんの友人ができた。
		3	学生サービスセンター職員の対応は適切だった。
		4	就職センター職員は個別に親身になって就職相談にのってくれた。
		5	就職センターによる模擬面接において適切な指導を受けることができた。
	2004	1	希望する進路先に就職、又は進学することができた。
2	就職センター職員は個別に親身になって就職相談にのってくれた。		
3	校舎内は清潔で快適に利用できた。		
4	就職センターの支援で十分な就職・進学活動ができた。		
5	この大学で学べたことは有意義であった。		
社会福祉	2005	1	この大学で学べたことは有意義だった。
		2	学生サービスセンター職員の対応は適切だった。
		3	卒業研究の授業で専門性を深め研究方法を身につけることができた。
		3	校舎内は清潔で快適に利用できた。
		5	たくさんの友人ができた。
6	就職センター職員は個別に親身になって就職相談にのってくれた。		



●表1/社会福祉学部 専攻別就職先施設・病院名一覧

社会福祉専攻		看護専攻	
応募先	人数	応募先	人数
企業		焼津福祉会	1
HLS	1	湖成会	1
JAとびあ浜松	3	米山せきれの郷(児童指導員)	1
ヤマシタコーポレーション	1	松風会(※山形)	1
遠鉄ストア(一般事務職)	1	麦の家(※山梨)	1
富士ハウス(事務職)	1	福祉合計	30
ナチュラルケア浜松	1	進学	
サンリオギフトゲート	1	聖隷クリストファー大学大学院社会福祉学研究所 (1重複)	1
長野興産クリエイティブ	1	静岡大学大学院人文科学研究科	1
浜松市文化振興財団	1	静岡市立看護専門学校	1
企業合計	11	進学合計	3
公務員		介護福祉専攻	
静岡県(児童指導員)	1	企業	
御前崎市(一般行政職)	1	レアル	1
公務員合計	2	矢崎化工(総合職)	1
医療		企業合計	2
榎原総合病院(PSW)	1	福祉	
前嶋内科(医療事務)	1	聖隷福祉事業団(介護職)	5
政本病院(介護職)	1	十字の園	1
いきいきリハビリテーション病院	1	小羊学園	1
医療合計	4	日本老人福祉財団	1
福祉		聖隷福祉事業団(介護職)	4
聖隷福祉事業団(介護職)	4	小羊学園	2
小羊学園	2	牧ノ原やまばと学園	1
日本老人福祉財団	2	天竜厚生会(総合職)	4
天竜厚生会(総合職)	4	天竜厚生会(介護職)	1
天竜厚生会(介護職)	1	白梅会(豊岡白梅ケアホーム)	1
白梅会(豊岡白梅ケアホーム)	1	ひかりの園(静岡園デイスサービス)	1
ひかりの園(静岡園デイスサービス)	1	慶成会(グリーンヒルズ東山)	1
慶成会(グリーンヒルズ東山)	1	公友会(しあわせの園)	1
公友会(しあわせの園)	1	三幸会(三幸の園)	3
三幸会(三幸の園)	3	七恵会(長上苑)	1
七恵会(長上苑)	1	和恵会(湖東病院グループ)	1
和恵会(湖東病院グループ)	1	藤花会(花平ケアセンター)	1
藤花会(花平ケアセンター)	1	明和会(袋井学園)	1
明和会(袋井学園)	1	東遠学園	1
東遠学園	1		

## 1 就職内定・進学決定状況

2005年度は、社会福祉学部において、初めて多くの卒業生が誕生し、社会に巣立っていききました(卒業生数92名、就職・進学希望者85名、就職・進学決定者78名・3/24現在)。就職・進学率92%で、就職先は、福祉施設、病院、公務員、一般企業など多方面にわたり、県内で評価の高い就職先を確保できました(表1参照)。また、看護学部および看護短期大学部では、例年通り就職内定率は100%に達しています。

## 2 きめ細かい就職支援の取り組み

本学の就職支援の特色を簡単に言い表すと「懇切丁寧な個別支援」です。進路の希望や活動の進め方は、人ひとり異なります。学生個々の希望や不安を聞きながら、その人のペースに合わせた活動方法をアドバイスし、必要な情報を提供することを心がけています。だからといって学生が就職センターに来るのを、ただじっと待つというわけではありません。学部ごとに時期に応じてさまざまなプログラムを組んでいます。各学部のプログラムの部は表2のとおりです。

### ●学内説明会

病院や施設の人事担当者及び看護部長が来学され、病院施設の特徴・採用試験の日程・求める人材像等の説明を行います。

「看護学部」4年次の6月に2週にわたって実施します。参加病院は、聖隷集団の8病院、静岡県西部を中心に静岡県中部・愛知県東部の有力な17病院です。

「社会福祉学部」3年次の1〜2月に実施します。参加施設は、聖隷福祉事業団をはじめ、聖隷集団他近隣の施設約10施設です。

「リハビリテーション学部」今年度の2〜3月に実施予定です。参加病院や施設

設については、今後、学生の希望や教員との話し合いを通して検討します。

### ●低学年からのキャリア支援

キャリア、キャリアデザインについてグループワークやデイスカッション等を取り入れた、参加型の楽しい講座を実施します。参加は自由です。(※キャリア、キャリアデザインの意味が気になる方は是非参加下さい。)

### ●各種ガイダンス

「業界研究」、「就職活動」、「進学活動」、「公務員試験」のカテゴリーに大別して、学内でガイダンスを適宜開催しています。「就職活動」では、自己分析の方法、履歴書エントリーシートの書き方のポイント、面接でのポイント等といった採用試験の必須事項を説明します。また、社会人になる前に必要なマナーを身につけるための講習会も実施しています。4年次だけでなく、1年次から参加できるものも数多くあります。参加は自由です。

### ●各種講座

資格取得を目標とした対策講座(外部委託のため有料)一部後援会にて費用補助)も多数計画しています。また、採用試験対策講座も実施しています。

### ●履歴書添削・模擬面接

履歴書が上手に書けない、何を書けば良いのかわからなくて悩んでいる等の相談に応じ、履歴書の添削も行なっています。また、模擬面接では就職センターのスタッフが面接官になり、本番さながらの厳しい質問を繰り返します。学生の皆さんはこうした経験を積んで本番に臨み、良い結果を出しています。

## 3 就職支援に満足する学生の割合

毎年聖隷学園が実施しています卒業生対象の満足度調査(約100項目)で、看護学部は過去3年間、進路に関する項目が、ベストファープにランキングしています。社会福祉学部は6位にランキングしました。この他にも進路に関する項目が数多く高い満足度を得ています。(表3参照)

## 4 就職支援のこれから

最初は意欲を持って就職活動をしてきた学生が、就職活動がうまくいかず、立ち止まってしまうことがあります。

照(これは、本学の教員・職員が常日頃から学生の進路に対して真剣に考え、「就職という学生の夢を実現させる」という強い意思を持って学生に関わっているからだと思います。

す。2006年度はこのような学生の支援に力を入れていきます。また、2005年度は、社会福祉学部から、初めて多くの学生が社会に巣立ちました。2006年度はリハビリテーション学部の1期生が3年生になり、2年後には卒業を迎えます。2007年度に向けて、教職員が連携して支援体制を確立していきます。



大学院看護学研究科

研究科長 藤本 栄子 教授 (初任)



私はこの4月、8年目を迎えた大学院看護学研究科の研究科長に就任しました。大役を前にして、今年度の重点目標が上っている2つのことです。一つは専門看護師教育課程の認定を看護分野で受けることです。準備は着々と進んでいます。認定されると、大学院の教育課程に、専門性を深めた看護実践能力の開発を目指す専門看護師コースが正式に加わります。すなわち、高度な看護実践ができるスペシャリストの育成を目指すコースが誕生するのです。二つ目は、看護学研究科への入学志願者の増加に向けた取り組みです。これは、単なる数の増加を目標としているわけではなく、特に卒業生や実習施設の看護職者の皆様に対して、大学院や看護学への関心をより高めていただくことを目指しています。卒業生に向けた看護学研究科からの情報の発信や、臨床の皆様への看護研究入門講座の開催等も検討中です。最後にになりましたが、やりたいことは、大学院の学生さんと学部との学生さんですが、看護について、あるいは看護学について、口角泡を飛ばして大いに語り合いたいと思っています。私の大学院生活を振り返ってみても、学生同士や教員との議論が一番の財産になったように思います。お互いに刺激し合うことを願っています。

大学院社会学部社会学研究科

研究科長 小松 啓 教授 (初任)



昨年の4月から初めてご当地浜松に参りました。本学では、社会学部社会学研究科でお世話になっております。今年の4月から思いがけず、社会学部社会学研究科という大役を担うように仰せつかり、戸惑いながら、これも神様の御心かと、お引き受けすることにしました。急に引き合いに出された神様もびっくりでしょうが、私の方がもどきびっくりしたのです。でもお引き受けしたからには、精一杯やらなければなりません。私自身、長い社会人の経歴を経て、このくらい長いのは申しません。大学院の博士後期課程に進み、そこで若い人々と共に学んで、苦しいことも多かったけれど、一番苦手だったのは、若い人々と一緒にトイに行くことでした。若い人々と並んで鏡の中に映る自分の顔は見たくもなかったからです。本当は、とびっきり楽しい大学院生活を送ったという経緯があります。学ぶこと、知識を追求することの楽しさは、何物にも替えがたいものです。それは短い人間の生などはるかに飛び越えて永遠に続くものであり、いくら追求しても終わることがないものだからです。聖隷クリストファー大学の社会学部社会学研究科という得がたい場所を与えられ、私は、院生たちと共に、そのような喜びをまた味わいたいと思っています。2号館7階の院生自習室をのぞきにきてください。新しい自習室をいただけて、私たちはとても張り切っています。

大学院リハビリテーション科学研究科

研究科長 宮前 珠子 教授 (初任)



2006年4月、リハビリテーション科学研究科がスタートします。リハビリテーション学部が誕生して3年目の大学院開設であり、まだ卒業生もおらず応募者が少ないのではないかと危惧されましたが、幸い定員と同数の10名の学生の入学が決まりました。近年、医学領域ではエビデンスベーストメディスンが叫ばれ、リハビリテーションに於いてもエビデンスを示すことが求められています。しかし、リハビリテーションは対象者の障害や環境において非常に個性が高く、その障害は、生物学的障害に留まらず、心理、社会、文化レベルにも及び、環境は、物理的、制度的、人的、社会的環境にまで広がりを持ったため、医学と同様のエビデンスを示すのはなかなか困難です。そのような中、診療報酬はリハビリテーションに対して年々厳しくなっています。現在は、ナラティブエビデンスメディスンという考え方も出てきていますが、本研究科では、学生がリハビリテーションを科学するにふさわしい研究法を身につけて研究を行い、我が国あるいは世界の理学療法、作業療法、言語・聴覚療法等の発展に寄与し、クライアントのQOLの向上に資することを目指します。院生の指導ははじめて、という教員も多く多少の不安はありますが、教員と院生が力を合わせて優れた研究科にするよう忍耐強く努力したいと思います。

2006年度教員人事に関する報告

- 学園 宗教主任 鈴木 崇巨 教授 (初任)
- 大学 教務部長 鈴木 恵理子 教授 (再任)
- 学生部長 渡辺 泰宏 教授 (初任)
- 就職部長 山本 誠助 教授 (初任)
- 図書館長 大場 浩 教授 (再任)
- 大学院看護学研究科 研究科長 藤本 栄子 教授 (初任)
- 大学院社会学部社会学研究科 研究科長 小松 啓 教授 (初任)
- 大学院リハビリテーション科学研究科 研究科長 宮前 珠子 教授 (初任)
- 看護学部 学部長補佐 竹田 千佐子 教授 (初任)
- 社会学部 社会学専攻主任 矢部 弘子 教授 (再任)
- リハビリテーション学部 理学療法専攻長 吉川 卓司 教授 (再任)
- 作業療法専攻長 宮前 珠子 教授 (再任)
- 言語聴覚専攻長 長谷川 賢 教授 (再任)
- 昇任 教授昇任「社会学部」 矢部 弘子 教授、坂本 道子 教授
- 助教授昇任「社会学部」 佐藤 順子 講師、春名 由 講師
- 講師昇任「看護学部」 山村 江美子 助手、石野 麗子 助手
- 所属異動 看護短期大学部から看護学部へ 深谷 志通 子 助教授、野崎 玲子 講師、片山 京子 講師、米澤 美貴 子 助手
- 2005年度未退職者 社会学部 中野 英子 教授、遠藤 久江 教授、佐柳 文男 教授、吉澤 勲 教授、福永 博文 教授、大橋 孝 助 教授、大澤 史 伸 講師
- 看護学部 小幡 セイ 教授、伊藤 幸子 教授、片桐 雅子 助 教授、安田 真美 講師、野田 奈津子 助手、宮内 義明 助手
- 看護短期大学部 塚田 トキ子 学部長、落合 清子 教授、山本 よし 子 教授、櫻井 文子 教授、高橋 俊子 教授、佐々木 百合子 教授、加藤 伊千夫 助教授、松本 本 講師
- 聖隷クリストファー大学看護短期大学部看護学学科は平成18年4月1日をもって発展的に解消し、看護学部に移行しました。

新任教員の紹介

看護学部

〔成人看護学〕

荒川 靖子 教授



成人看護学で急性期看護を担当します。手術を受ける患者さんの看護についてみなさんと一緒に学びを深めて行きたいと思っています。

〔老年看護学〕

濱畑 章子 教授



いろんな人との新しい出会いを楽しみにしております。一緒に、楽しく、老年看護を勉強しましょう。

〔地域看護学〕

酒井 昌子 助教授



これからの看護職には浜松の「やらまいか」が必ず必要！皆さんの心意気と実践に期待しています。

〔基礎看護学〕

三輪木 君子 講師



常に学生の目線にたち、学生の声に耳を傾け、共に考えることを心掛けています。授業は分りやすく、興味関心を持つよう、また学習することの楽しさを伝えていきたいと思っています。

〔小児看護学〕

小出 扶美子 講師



看護を学び、大学生活や実習場でのいろいろな人々との出会いを通して、成長していく過程を応援していきたいと思っています。

〔老年看護学〕

大塚 静香 助手



皆さんと一緒に、楽しく老年看護学を学んでいきたいと思っています。よろしくお祈りします。

〔基礎看護学〕

妹尾 桂子 助手



母校に帰り、後輩となる学生達と共に学ぶことができるとも嬉しく思います。どうぞよろしく！

〔母性看護学〕

山本 訓子 助手



皆さんに一番近い立場で、皆さんと一緒に学び、成長していきたいと思っておりますので、よろしくお祈りします。

看護短期大学部専攻科助産学特別専攻

小柳 布佐 講師



助産は「生」の看護です。助産師を目指す乙女達に私の35年のキャリアで培った知識や技術をお役立てできる幸せを感じています。

リハビリテーション学部

理学療法専攻 横山 茂樹 助教授



最西端、長崎より赴任。専門は運動器系疾患の理学療法。ともに自律した学びを追求していきます。

作業療法専攻 澤田 辰徳 講師



新人教師ですので皆さんと一緒に知識を高めていきたいと思っております。よろしくお祈りします。

理学療法専攻 根地嶋 誠 助手



知らないこと、分からないこと、いっぱいあると思います。私もそうです。一緒に勉強していきます。

社会学部

〔キリスト教〕 鈴木 崇巨 教授



聖書は私たちの人生の歩み方について、汲めども尽きないほどの多くのことを教えてくれます。共に学びましょう。

〔社会福祉援助技術〕 志村 健一 助教授



ソーシャルワークは人をつなぎ、社会資源をつくり、コミュニティを組み立てる魅力的な仕事です。一緒に学びましょう。

〔精神保健福祉、心理学〕 大場 義貴 講師



精神障害者の地域ケアや思春期、青年期層への医療・生活支援など、心の支援に興味がある方と一緒に活動しましょう。



# ク ラ ブ ・ 同 好 会 紹 介



◆部長 野田珠希 看護学部 3年次生

「チークポイント」  
このサークルはみんなで楽しく踊ることを目的としたダンスサークルです。ほとんど初心者なので、誰でも安心して楽しく踊れます☆ダンスはDVDで振り付けを見ながら覚えたり、みんなで考えて踊ったりしています。活動日は、毎週月曜日にフロアで行っています。みんなに披露するのは、聖灯祭の後夜祭や新入生歓迎会、卒業パーティなどです。あまりうまくはありませんが、楽しく踊れるので、とても気持ちがいいです☆

◆部長 佐藤あい 看護学部 3年次生

「ALS患者さんを励ます会」  
こんにちは。皆さんは「ALS」を知っていますか？「ALS患者さんを励ます会」の「ALS」とは、進行性の神経難病である「筋萎縮性側索硬化症」のことです。このサークルが始まったきっかけは、看護短期大学の先輩が実習でALSの患者さんと関わったことでした。この患者さんが退院し、自宅に戻られた時の在宅療養の大変さを知り、私たちにできることはないかと考え、サークルを立ち上げることになりました。私たちが行っている活動は一人の患者さんに対して部員がグループとなり、着替えや身の回りのお手伝いをしたり、話し相手になったりすることです。活動場所については施設や患者さんの自宅です。難しい技術や知識が必要なことを行うのではなく、学生である私たちが出来ることを行っています。私はこのサークルに入り、患者さんやご家族の方と関わることで、多くのことを考え、感じてきました。また、同時に楽しいことや失敗したことなど、様々なことを経験できたとも思います。人と関わることでしか得られない素敵なものがあります。皆さんも、このサークルに入って、人と人との関わりを持ちませんか？



◆部長 鈴木咲子 社会福祉学部 4年次生

「手話サークル「手わっち」」  
私たち「手わっち」は、週一回大学に講師を招き、手話や手話を通じた障害についての理解をテーマに活動しています。基礎的な日常会話や指文字を学んだり、年2回学外で交流会を開催したりしています。さらに実際に障害をもつ方と接することで、手話に触れる機会もあります。何より手話は生きた会話であるため、参加者同士が賑やかに会話をし、こそ意義があると感じます。私たちのほとんどが手話は初心者であり、手話を学ぶ気持ちのある方ならどなたでも参加出来ます。

◆部長 鈴木咲子 社会福祉学部 4年次生

「手話サークル「手わっち」」  
今後は、講師等から与えられた活動だけではなく、学生主体となったサークル活動をしていきたいと考えています。そして「手わっち」での学びを、これから出逢う様々な人との係わりにおいて役立てることが出来るよう、充実した時間を過ごしていきたいと思



◆部長 鈴木咲子 社会福祉学部 4年次生

「手話サークル「手わっち」」  
動物が森の中で道なきところに道をつくっていく「けものみち」に例えられるのだと聞いたことがあります。森の中、一匹の動物が木や草を掻き分けて通っていく。そしてその

- 【クラブ・同好会一覧】(2006年3月現在)
- ボランティア系
    - ひまわりの会(聖隷厚生園でのボランティア)
    - ALS患者さんを励ます会(在宅介護ボランティア)
    - 手わっち(手話サークル)
    - 献血推進ボランティア(献血キャンペーン企画・運営)
    - マナの会(ホスピス学生ボランティア)
    - アジア友のわ(JOCSを中心とした海外協力)
    - TOLO(外国人児童・生徒への学習支援)
    - 点々(点字サークル)
    - わたがし(小羊学園でのボランティア)
  - スポーツ系
    - バスケット 剣道部
    - バレーボール部 TFC(陸上)
    - フットサル MSB(野球)
    - over-dose(ダンス) H・B・C(エクササイズ)
    - バ☆ド(バドミントン) チークPoint's
    - パンパ(バドミントン) 球部(各種球技)
    - プレイヤーズ(テニス) Yoga
    - ゆりかもめ(バレーボール、テニス) トータル・フィットネス・プロモーション
    - ホットリミット(スポーツ・アウトドア) MARS(HIP HOPダンス)
    - J&T(柔道・トレーニング) シャリカン(バドミントン)
  - 音楽系
    - コーロ・カリタ(コーラス)
    - ハンドベル 軽音楽部
    - 室内管弦楽部 琴部
    - プラスバンド部 ギター部
  - 文化系
    - 茶道部 美術部
    - オーブ(聖書研究・ゴスペル合唱)
    - 郷土料理研究会

## 看護は未知との遭遇、だから面白い!



渡邊順子 看護学部 教授

■最終学歴:大阪大学大学院医学系研究科博士後期課程 保健学(博士)  
■所属学会:日本看護研究学会(評議員)、日本看護学会(評議員)、日本看護技術学会(評議員)ほか  
■研究テーマ:ポジショニング看護介入、排泄ケアガイドラインの策定、基礎看護技術の教育技法

ナースの卵だった頃、臨床ナースを夢見ており、まさか私が教育や研究に携わるとは想像していませんでした。ところが、ほんの腰掛け(失礼!)のつもりで当時の名古屋大学医療技術短期大学部看護学科(現・名古屋大学医学部保健学科看護学専攻)の教官(助手)になり、看護の教育と研究の世界に入り込んでしまいました。もう、22年です。

当初から基礎看護技術教育に関わり、高校を卒業したばかりの学生に、カンゴのはじめの歩を教える醍醐味は毎年、新鮮です。助手から講師として助教と責任が重くなるに従い、看護の面白さをどうしたら基礎看護技術教育のなかで伝えられるかを考えてきました。

そんな時、米留学の機会をいただき、看護先進国の教育と研究を目的の当りにしました。少人数クラスは言うに及ばず、エキスパートナースの大学院生たち、討議中心の授業と技術中心の実践授業をして、スペシャリストナースによる演習授業など、目からウロコの連続でした。

帰国後、早速、Nursing Laboratory(看護実習室)で行うNursing Practiceの授業で使われていた教材・オリジナルテキストとドリルの名大版を作成しました。単なる手順マニュアルだけの看護技術では人を看護できません。看護技術に必要な理論の予習、その理論を生かした実践技術の演習、そして技術を体得するための反復練習(復習)の流れが基礎看護技術教育には、必須です。1年半前に聖隷クリストファー大学に異動し、その基礎看護技術のオリジナルテキスト(第二世代)に取りかかりました。もう、完成は間近です。

私が研究らしきものに関わったのは、「褥瘡予防」が手始めになります。身体に加わる圧力によって生じる皮膚潰瘍を防ぐ看護として、ポジショニングと寝具の選択は重要な鍵となります。この研究テーマに取りくんできたころ、宇宙医学の地上実験室として看護実習室を使いたい、生

理学研究者に相談されたのです。無重力世界の宇宙での生活は、「寝たきり生活」に匹敵する現象が多く見られるのです。それを擬似的に再現する微小循環暴露地上実験の被験者の看護ケアに関わることになりました。終日、24時間、20日間。地球人は重力

## 「けものみち」を作り出す人に



春名 苗 社会福祉学部 助教授

■最終学歴:関西学院大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻博士課程前期課程(社会福祉学修士)、関西学院大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻博士課程後期課程単位取得満期退学  
■所属学会:日本社会福祉学会、日本地域福祉学会、キリスト教社会福祉学会、介護福祉学会  
■研究テーマ:介護保険下における在宅介護支援センターの役割、地域包括支援センターへの統合の動き

社会福祉は、動物が森の中で道なきところに道をつくっていく「けものみち」に例えられるのだと聞いたことがあります。森の中、一匹の動物が木や草を掻き分けて通っていく。そしてその

のおかげで生活できることを実感させられました。食事、排泄、清潔などの身体的ケアだけでなく、不眠や言いようのない不安への対応は、まさに看護そのものです。この貴重な実験に関わった当時のケアスタッフの看護学生たちはいま、つばなナースに成

動物が通った同じところをまた別の動物が木や草を掻き分けながら通っていく。それが繰り返されているうちに多くの動物が通る「けものみち」として明らか存在していく。

社会福祉にあてはめると、一人の利用者を援助しようとしたとき、時には必要なサービスがないこともあり。そのとき、利用者に諦めてもらう、または新しいサービスを作り上げる働きかけをする、という選択肢があります。私が出会った専門職の人たちは、新しいサービスを作り上げようとしていました。道なきところに道を作っていく、サービスがないところにサービスができるように行政や地域に働きかけをしていく努力をしていました。そしてその働きかけによりその地域に新しいサービスが生まれ、必要ならばは広くそのサービスが提供されています。社会福祉にはいろいろなサー

ビスが存在していますが、はじめから存在したわけではありません。利用者の声を聞き、それに対応したいという多くの専門職の努力と働きかけからサービスなきところからサービスが生まれ、またその質が徐々に改善されてきた歴史があります。そして現在も、未来に向けて必要なサービスを作りだし、今あるサービスの質を改善していかなくてはなりません。

社会福祉を学ぶ学生には、将来、就職した場で、一人一人の利用者に向き合い、たとえ小さくても「けものみち」を作り出す、あるいは「けものみち」を広げる努力をしてほしいと願っています。私は、教育に携わるとともに、社会福祉の現場で専門職の方々が努力して作っている「けものみち」を少しでもみんなに知ってもらい、さらに広い道にするためにその手助けとなるよう研究を続けていきたいと思います。

長しています。しばらく、頓挫していた地上実験が今夏、再開します。この研究によって、看護の未開発な部分をまた発見すると思えます。基礎的研究で得られたものを臨床的に解明しなければなりません。まだまだ、看護は未知との遭遇です。だから、面白い。





今回の上映に至りました。

「福祉の日記念行事」を行いました。

10月18日(火)に、本学社会福祉学部生を対象に「福祉の日記念行事」を行いました。静岡県では、1月1日から数えて294(ラックシ)日目にあたる10月20日を「県民福祉の日」として制定しています。本学では豊かな人間性を兼ね備えた福祉に携わる人材の養成をめざしており、学生一人ひとりが福祉の意義を改めて考える機会とするため、毎年講演会などを開催しています。今年も「石井のおとうさんありがとう」(山田火砂子監督)を上映。明治時代に岡山に日本で初めての孤児院をつくり、3千人もの孤児を救済、「児童福祉の父」とも呼ばれた石井十次氏の波乱の生涯を描いた物語です。差別や偏見がひどかった明治大正期において、日本の社会事業史に大きな業績を残した石井氏の歩みを見直すことで子育て放棄や幼児虐待などのさまざまな事件が少しでもなくなることを望む山田監督の思いを受け、

CHRISTOPHER news クリスチャーニュース

「韓国東明園」理事長・園長と学生との交流会を行いました。



10月19日(水)に、「韓国東明園」の理事長と園長が来学、学生との交流会を行いました。

本学社会福祉学部では3・4年次の選択科目として「国際福祉実習」を設けています。この実習は、実習先である韓国、インド、ブラジル、アルゼンチンのなかから学生自身が実習国を選択し、2〜8週間の期間内で行うものです。異文化のなかで福祉実践に触れ、地域の人々と生活を共にすることにより多様な文化や価値観があることを学び、国際的な視野を養うことを目的としています。「韓国東明園」は実習の受け入れをお願いしている施設のひとつです。今回、今後の実習に関する打ち合わせを主な目的に同園の理事長・学長を招きました。そしてこの機会に、これまでに同園で実習した学生とこれから実習をする予定の学生との交流の場が設けられました。交流会では、これまでに実習した学生が一人ひとり感想を述べるなどして意見を交換し、交流を深めました。

大学院講演会(看護学研究科・社会福祉学研究科)を行いました。

10月22日(土)に、大学院講演会を行いました。本学では地域に開かれた大学として、地域の皆さまの自己研鑽の場となるように講演会を開催しています。今回は看護学研究科と社会福祉学研究科の担当教員が講師を務め、2講演を同時開催しました。

会場1 看護学研究科  
●演題/看護実践における倫理 ●講師/小島操子教授 ●看護と倫理、看護倫理の教育不足への対応、倫理的判断のよりどころ、患者の権利の擁護、倫理的問題への対応策についてお話ししました。

会場2 社会福祉学研究科  
●演題/はつらつ・生きがい術—人生百年時代の生活設計を— ●講師/吉沢勲教授 ●30年近く携わってきた精神保健の仕事における臨床経験の話を交えながら、高齢社会においていかに生きがいを見つけて生きていくか、その考え方や方法論についてお話ししました。



シンガポール・ナンヤン理工学院の教員と学生が来学しました。

11月21日(月)から11月25日(金)まで、シンガポール・ナンヤン理工学院の教員4名と学生15名が来学しました。本学と同学院は、交流協定締結に向け話し合いを進め、9月には本学リハビリテーション学部長と看護学部長を含む教員4名と学生6名が、6日間の日程で同学院を訪れました(交流協定は2006年4月に締結されました)。今回来学した教員と学生は、滞在中、本学リハビリテーション学部作業療法専攻や看護学部の授業へ参加したり、聖隷の病院や高齢者施設、デイサービスセンターなどを見学したりしました。また、作業療法専攻の有志学生の主催する歓迎会への参加や学生宅にホームステイするなど、お互いに交流を深めました。



履修りを体験しました。

リハビリテーション学部講演会を行いました。

10月25日(火)に、リハビリテーション学部講演会を行いました。2004年に開設したリハビリテーション学部では、年1回ゲストを招き、リハビリテーション職種の仕事について、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の枠組みを超えて考える講演会を実施します。その第1回目となる今回、本学リハビリテーション学部リハビリテーション学科学科言語聴覚学専攻の小島千枝子教授と、小島教授が聖隷三方原病院在職中にかかわっていた出原小夜子さんに、ご自身のリハビリテーション体験や人生観などをお話していただきました。講演後には学生・教員との質疑応答も行われました。本学リハビリテーション学部1・2年生のほか、他学部生、教員など多くの方が来場し、教室は満席になりました。



2006年度実施予定 海外研修のお知らせ				
	ネブラスカ研修	中国研修	オーストラリア研修	シンガポール研修
研修・訪問先	アメリカ:ネブラスカ州リンカーン市	中国:四川省重慶市・北京市	オーストラリア:ビクトリア州メルボルン市	シンガポール
受入教育機関	ネブラスカウエスリヤン大学	第三軍医大学	モナッシュ大学	ナンヤン理工学院
内容	医療・高齢者施設見学(約30時間) 上記施設でのシャドーイング(2日) 英語(約30時間) フィールドトリップ(3泊4日) ●過去の施設見学先: リハビリテーション施設 高齢者福祉施設(シャドーイング含む) 地域病院(シャドーイング含む) 地域看護施設(NPO等) 保健所 ●講義(2005年度):「米国での看護」「ウエスリヤン大学での看護教育」「地域のYMCA活動」	医療施設見学 観光(3泊4日) ●過去の施設見学先: 第三軍医大学 大学附属病院 高齢者施設 児童施設 農村地域 地方病院 保健所 ●講義(2004年度): 「病院情報のシステム化」	英語(60時間) フィールドトリップ(2日) ●過去の施設見学先: 地域病院	授業見学 医療施設見学 学生交流 ●過去の施設見学先: ナンヤン理工学院 総合病院 地域診療所 身障者介護施設 リハビリテーション施設 ●講義(2005年度): 「シンガポールの医療システム」
滞在方法	ホームステイ(到着日&旅行中はホテル)	ホテル	ホームステイ	ホテル(1日~2日間ホームステイ)
時期	夏期(7月25日~8月14日)	春期(3月中旬)	春期(3月初旬~下旬)	夏期(9月初旬)
期間	3週間	10日間	3週間	1週間
費用	約40万円	約15万円	約38万円	約10万円
募集時期	2月~4月	7月~10月	10月~12月	4月~7月(定員になり次第締切り)
対象学部学年	看護2年次、3年次	全学部・全学年	全学部・全学年	リハビリ(OT&PT)、看護、全学年
募集人数	20名	20名	20名	13名
レポート提出	有(国際看護論、選択)	有(看護学部は国際看護論、選択)	無し	無し
単位認定科目	国際看護論(1単位)、語学演習(1単位)	国際看護論(1単位看護) ※社福は以下参照	英語科目(2単位) ※詳細は以下参照	無し
コメント	めったに行く機会のない広大なアメリカの中西部で心温かいホストファミリーと過ごしながらアメリカの看護の現場を学びます。アメリカの医療・福祉施設・地域看護などの見学・実習ができる他の研修にはない内容です。同時に英語研修およびアメリカ中西部の大自然にふれる3泊4日のフィールドトリップのような景色や満天の星空と流れ星は一生涯の思い出になることでしょう。	本学の協定校である第三軍医大学を中心に、関係する医療施設等を見学します。世界1位の人口を抱える中国では、我が国同様、高齢化問題など医療に対する取り組みについてここ数年活発な議論がなされています。近くて遠い国といわれてきた中国ですが、今後我が国との関係も急速に深まっていくことが予想されます。中国研修は、2年に1度行われるため、来年度は実施されません。機会を逃さないようご注意ください!	研修地メルボルンは、世界有数の都市でありながら、多くの緑と花に囲まれていることから、「ガーデンシティ」とも呼ばれる大変美しい街です。また、研修先の国立モナッシュ大学は、学生数4万を超える大規模校。留学生への英語教育にも定評があります。世界各地から留学生が集まる国際色豊かなキャンパスで、様々な異文化に触れながら、まずは英語力を高めたいという皆さんに理想の研修先です。	アジアの金融、物流、そして医療の中心的存在を目指すシンガポールは、今世界から注目を浴びています。研修先となるナンヤン理工学院は、シンガポール政府との連携により、多数の医療専門職を輩出してきた教育機関であり、本年4月に本学と交流協定を締結しました。1週間という短い研修ながら、授業見学やシンガポールを代表する医療施設の見学、同世代の学生との交流等、盛り沢山の内容となっています。

※上記研修・見学プログラムの内容・時期・費用は予定です。開始までに変更がある場合があります。  
※正式な募集時期は学内掲示板でお知らせいたします。  
※社会福祉学部では、上記研修とは別に社会福祉学部生を対象とした「国際福祉実習」を行っています。



学生サービスセンターからの  
お知らせ

## 防犯・交通安全・ 消費者問題に注意!

### 防 犯

出会い系サイトを利用した犯罪が増えて  
います。気軽に見知らぬ相手に会うこと  
は絶対やめましょう!

### 交 通 安 全

通学中やプライベートでの事故が増えて  
います。時間に余裕を持って行動し、安  
全に充分注意しましょう。

### 消費者問題

「友達になりたい」、「アルバイト募集」な  
どと偽って高価な商品やサービスを売り  
つける手口や振込め詐欺に注意しましょう。  
少しでも不審に感じたら気軽に学生サー  
ビスセンターに相談してください。

### — 訃 報 —

社会福祉学部2年次生の桑名智浩君が3月  
21日(火)22時57分に交通事故のため亡く  
なりました。心よりご冥福をお祈りいたします。

## 2006年度キャンパススケジュール(予定)

4月	10月
4日 入学式 5日 新生オリエンテーション 新生セミナー 在学生ガイダンス(10日まで)	2日 秋セメスター授業開始
6日 防災訓練 8日 大学院オリエンテーション 11日 春セメスター授業開始	11月 3日 聖灯祭
5月 1日 創立記念日 2日 創立記念日振替休日	12月 20日 クリスマス礼拝 25日 冬期休業(1月5日まで)
6月	1月 26日 秋セメスター授業終了 29日 定期試験(2月2日まで)
7月	2月 15日 定期試験結果発表 20日 定期試験追試 再試(23日まで)
14日 春セメスター授業終了 18日 定期試験(21日まで) 24日 夏期休業(9月15日まで)	3月 12日 学位記授与式・ 卒業式・修了式 卒業パーティ 19日 春期休業(~31日)
8月 21日 定期試験結果発表 30日 定期試験追試 再試(9月1日まで)	
9月 28日 春セメスター学位記授与式・ 卒業式 29日 秋セメスターガイダンス	

Q1 本誌の全体の印象について○印をつけてお聞かせください。(具体的なご意見もお書きください)

- 1 読みやすい      2 読みにくい

Q2 本誌に興味を持たれた記事に○印をおつけください。(いくつでも)

- |               |               |            |
|---------------|---------------|------------|
| 1 就職支援        | 5 クラブ・同好会紹介   | 9 キャンパスライフ |
| 2 研究科長就任にあたって | 6 クリストファーニュース | 10 学生会から   |
| 3 新任教員の紹介     | 7 後援会から       |            |
| 4 私の教育研究      | 8 お知らせ        |            |

Q3 本誌へのご意見、ご要望、その他大学に関するご意見等ございましたら、ご自由にお書きください。

### 読者アンケートのお願い

第24号から読者アンケートを開始  
しました。読者の皆様から多数の貴重  
なご意見をいただきありがとうございます。  
主なご意見・ご質問に関する回答は  
後援会のホームページに掲載して  
います。引き続き学報に関するご意  
見をいただければ幸いです。お便りお  
待ちしています。

## 後 援 会 か ら

聖隷クリストファー大学後援会 2005年度決算・2006年度予算について  
2006年4月4日(火)に2006年度後援会総会が開催され、以下のように2005年度決算及び2006年度予算  
が承認されました。2006年度の新規事業としては、社会福祉学部国際福祉実習及びリハビリテーション  
学部臨床実習に関わる費用の補助のほか、保護者から見た本学の課題を把握して改善につなげるため  
の満足度調査を実施する計画です。

[収入の部]		2005年度決算	2006年度予算
会費・入会金	入会金収入 会費収入	3,610,000 25,080,000	3,487,500 25,560,000
利息収入	預金利息	594	500
前年度繰越		3,211,298	5,915,140
収入の部 合計		31,901,892	34,963,140
[支出の部]		2005年度決算	2006年度予算
教育活動	新入生セミナー補助	2,223,310	1,397,620
振興援助費	海外研修補助費(アメリカ、ネブラスカ・ウエスリアン大学)	137,396	200,000
	海外研修補助費(オーストラリア、モナッシュ大学)	200,000	0
	海外研修補助費(シンガポール、ナンヤン工科大学)	244,236	100,000
	海外研修補助費(中国、第三軍医大学及び関連医療施設)	0	220,000
	看護学部 遠隔地看護実習交通費補助	999,987	1,200,000
	社会福祉学部 国際福祉実習旅費の補助	0	200,000
	リハビリテーション学部 実習宿泊費補助	0	300,000
	看護短期大学部専攻科 学外学会参加費の補助	272,112	280,500
	資格取得講座等補助費	823,760	1,260,500
福利厚生費	学生相談室カウンセラーに係る費用の補助	2,222,507	5,300,000
	学生相談室相談員(2005年度は相談受付員)に係る費用の補助	2,587,338	
	学生相談室運営費	264,118	220,000
	学生健康診断補助	2,720,126	3,858,720
	学生の自主活動への補助(学生会活動、クラブ活動、大学祭開催等)	1,500,000	1,500,000
	学生会活動への補助(ボランティア活動推進委員研修費)	0	100,000
	クラブ指導者への謝礼(琴、手話、管弦楽、茶道、テニス等)	247,500	300,000
	学生食堂光熱水費、衛生管理費等への補助	3,698,455	4,000,000
	交通安全・防犯啓発活動費用の補助	154,080	150,000
	卒業記念品贈呈	921,994	812,000
	卒業パーティ開催	2,000,000	1,600,000
	家主懇談会費用(年2回開催予定)	1,870	10,000
	学生用コピー機・印刷機費用の補助	1,184,373	1,200,000
	健康管理センター薬品等購入費	326,003	400,000
会員情報提供費	大学報印刷費用、郵送料	1,255,555	1,500,000
	保護者懇談会の開催	1,040,321	1,000,000
施設設備費	学生福利厚生設備備品の充実費用	510,939	700,000
	駐車場防犯カメラシステムリース料	189,624	189,624
	大学周辺の防犯灯維持費	62,768	62,768
総務費	慶弔費	80,500	50,000
	保護者満足度調査経費(郵送料)	0	60,000
	会費納付書等印刷費、郵送料	37,490	60,000
	役員会 年3~4回(5,9,12,3月)	80,390	150,000
予備費		0	6,581,408
次年度繰越金		5,915,140	0
支出の部 合計		31,901,892	34,963,140

4年間後援会役員を務めてくださいました岡本信也会長は3月を以って退任されました。  
4月からは社会福祉学部2年次生の保護者で、後援会理事の吉村哲志氏が会長に就  
任することが4月4日の後援会総会で承認されました。

### 後援会新会長 吉村哲志



今年度、岡本会長の後を受け、会長職を拝命致しました。  
私は、学生の皆さんが、充実した学びを展開し、社会に貢献で  
きるに足る精神・知力・技術を十分に身につけられるよう物心  
両面に渡って支援して参りたいと思います。もとより、私は会  
長の任には力不足ではありますが、役員の皆様にご助けいただ  
きながら、責任を果たすために精一杯努力して参ります。

## 2005年度 保護者懇談会を 開催しました。

10月1日(土)に社会福祉学  
部とリハビリテーション学部、  
10月29日(土)に看護学部と  
看護短期大学の保護者懇  
談会を開催し、たくさんの方  
の参加に感謝いたします。  
午前中は学部別懇談会、午後は  
個別相談(希望者対象)や校  
舎見学を実施しました。保護  
者の皆さまからは「4年次生

になって初めて参加しまし  
た。1年次生の時から参加し  
ていけばよかったと思いました。」「  
不安が少し和らぎました。」「  
子供が通っている大学を実  
際に見ることができてよかつ  
たです。」などの声が寄せら  
れました。  
2006年度も開催いたし  
ますので、ぜひご参加くださ  
いますようお願いいたします。



第一部 学部別懇談会  
全体会/学生生活、実習内容、就職支援、国家試験対  
策などについて、お話ししました。



昼食/学食の味を体験していただきました。

### 後援会ホームページ

大学のホームページ内に(<http://www.seirei.ac.jp/>)  
後援会のホームページがあります。大学のホーム  
ページを開き、「保護者の方へ」をクリックしてご  
覧ください。